

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 8 年 3 月 31 日までです。

①研究課題名	大学男子バスケットボールにおけるゾーンオフENSE時の戦術的行動
②対象者及び対象期間	対象者は、2023 年から 2025 年に全九州大学バスケットボール男子 1 部リーグに所属し、ベンチ登録された選手、330 名程度とする。 対象期間及び対象となる試合は、2023 年から 2025 年に開催される全九州大学春季バスケットボール選手権大会のうち、1 部リーグ所属チーム同士の試合、および全九州大学バスケットボール男子 1 部リーグ戦 90 試合のうち概ね 50 試合とする。
③概要	バスケットボールの試合の中で行われたゾーンオフENSEの場面を抽出し、ボールが経過するエリアを手がかりにオフENSEにおける戦術的行動について検討する。ハーフコートに 12 分割にエリア分けしボールが侵入したエリアを記録し、シュートの成否を基にオフENSEの有効性における分析を行う。本研究を行うことにより、全九州大学男子バスケットボール 1 部リーグのゾーンオフENSEの現状とその有効な戦術的行動について明らかにする。
④研究の目的・意義	本研究の目的は、ゾーンディフェンスを実施された際のオフENSEであるゾーンオフENSEに焦点を当て、ボールが経過するエリアを手がかりにオフENSEの戦術的行動を検討することである。本研究を行うことにより、全九州大学バスケットボール男子 1 部リーグのゾーンオフENSEの現状とその有効な戦術的行動及び試合の勝敗への影響について明らかにする。本研究を行うことにより、九州大学男子バスケットボールにおける有効なゾーンオフENSE時の戦術的行動を明らかにすることができ、今後の指導現場における有効なゾーンオフENSEの構築に寄与できると考える。
⑤研究期間	倫理審査委員会承認日から令和 8 年 3 月 31 日まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究では、2023 年から 2025 年に開催された全九州大学春季バスケットボール選手権大会のうち、1 部リーグ所属チーム同士の試合、および全九州大学バスケットボール 1 部リーグ戦 90 試合のうち概ね 50 試合の試合映像を使用し、映像分析を行う。研究データの保存にあたっては、鹿屋体育大学における研究データ等の保存に関する指針を遵守し、個人が特定できないよう匿名加工もしくは仮名加工等したうえで、論文等の発表後 10 年間保存する。
⑦利用または提供する情報の項目	2023 年から 2025 年に開催される全九州大学春季バスケットボール選手権大会のうち、1 部リーグ所属チーム同士の試合、および全九州大学バスケットボール 1 部リーグ戦 90 試合のうち、概ね 50 試合程度とする。 その他のデータ収集項目は以下の通りである。 ・各チームが 1 試合の攻撃回数に対して、ゾーンオフENSEを試行した回数。 ・各エリアにボールが侵入した回数。 ・ゾーンオフENSE時のパス回数。 ・ショットが放たれた位置。

	・ショットが放たれたときのショットクロック（24 秒タイマー）の残り時間.
⑧利用の範囲	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系・教授・和田 智仁 鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程 1 年 佐々木 優斗
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者 （お問い合わせ先）	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系・教授・和田智仁 Tel : 0994-46-4941 E-mail : wada@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4820 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	